

逆ラジオの地震予測で ときどき 満月や新月の前後に大地震が起きやすい、という満月トリガーや新月トリガーの話しを載せていますが 会員の方から、発震トリガーの件で、地震予測で 太陽活動が深い関係があるとの説の ご質問をいただきました。

<<①満月や新月の前後に大地震が起きる>>

満月や新月の前後に大地震が起きることは いくつかの論文が出ており、以前、産総研と南カリフォルニア大の共同研究の論文も見たことがありますが 今回調べてみたら 2016年に東大でも発表していました。

<161015「巨大地震」を「月の満ち欠け」で予測できる可能性>

>1 万以上のデータを検証した結果、マグニチュード 8.2 以上の巨大地震 12 例のうち

>9 例は、地球潮汐が最大となる大潮の日だったという東大チームによる研究結果が発表された。大潮は通常、1 カ月に 2 回、満月と新月のときに起こる。

>東京大学教授の井出哲らのチームが行った今回の研究では、3 つの巨大データベースから

>の地震記録と潮汐図との相互参照が行われた。大潮と小さな地震のあいだの相互関係は

>ほとんどゼロだったが、マグニチュード 7~9 の大地震になると、月の周期との一致が

>見られ始めた（過去 20 年間に起きた大地震（マグニチュード 5.5 以上）1 万以上の

>データを検証した結果、2004 年のスマトラ沖地震や 2011 年の東日本大震災を含む

>マグニチュード 8.2 以上の巨大地震 12 例のうち 9 例は大潮だったという。

ということで、

>巨大地震 12 例のうち 9 例は・・・大潮の日だった

>となると、ざっくりと考えても 75%の高確率といえます。

<<②太陽活動が低下した場合に巨大地震が起きる>>

次に会員の方からのご指摘の

>太陽活動が低下した場合に巨大地震が起きる、

ということについては 過去に少し聞いたことはありましたが 今回改めてしらべてみた 2011 年に 九州大が発表していました。

<110926 巨大地震：太陽の黒点が少ない時期ほど頻度高く>

> 太陽の黒点数が少ない時期ほど巨大地震の発生頻度が高いことが、湯元清文・九州大

>宙空環境研究センター長（宇宙地球電磁気学）のチームの分析で分かった。東日本大震

>災も黒点数が少ない時期に起きた。

>太陽の黒点数は約 11 年周期で増減を繰り返し、地球大気の状態を変化させている。

>チームは地球内部にも何か影響を与えていると考え、1963~2000年の太陽の

>黒点数と、同時期に発生したマグニチュード (M) 4 以上の計 32 万 7 千 6 百 25 回の地震

>との関係を調べた。

>その結果、M4.0～4.9の地震の65%が、太陽黒点数が最小期（約2年間）の  
>時期に起きていた。

>M5.0～5.9、M6.0～6.9、M7.0～7.9でもほぼ同じ割合だったが、

>M8.0～9.9では、28回発生した地震の79%が最小期に集中していた。

>また、黒点数が少ない時期には、太陽から吹き出す電気を帯びた粒子の流れ「太陽風」

>が強まる現象が毎月平均3～4回あるが、その現象時に、M6以上の地震の70%が

>発生していた。湯元センター長も「太陽と地震の活動をつなげる要素は不明だが、

>地震の謎を解明する手がかりにしたい」と述べています。

と、ということで、太陽の活動と大地震の関係については

>M8.0～9.9では、28回発生した地震の79%が最小期に集中していた

>「太陽風」が強まる現象が毎月平均3～4回あるが、その現象時に、M6以上の地震の  
>70%が発生していた

ということなので 79%、70% はいずれも高確率と言えます。

月齢(大潮)と大地震、太陽の黒点数や太陽風と大地震がこのように高い確率で関連がある  
ことを過去の膨大なデータから東大や九大が研究発表していたことは 地震予知一防災に  
関して大変重要な研究で、やはり天体と地震は関連があるのだと思います。

ゆれくるんでは いままで月齢だけを参考にしてきましたが今回の会員の方のご指摘から  
今後は、できれば太陽の黒点数や太陽風も参考にしていきたいと思います。

またその会員の方からは

>ちなみに太陽活動は活発化しています

という情報もいただきました。こうした情報は大変参考になります。

大変ありがとうございました。

ご承知の通り、ゆれくるんの電磁波ノイズによる地震予知情報、逆ラジオ通信では 関西  
～九州に大型地震の可能性を何度もお伝えしてきましたが いまは新月を過ぎて、まだ発  
震はありません。

太陽活動が低下した場合に巨大地震が起きる、という説からすると、いまは 太陽活動が  
活発化しているので大地震の可能性が小さい時期になるかもしれません。

しかし いくつもの電磁波データが大地震の兆候を示しています。また月齢(大潮)と大地  
震、太陽の黒点数や太陽風と大地震も確率的には80%未満なので、まだ20%前後の可能性  
は残ります。

複数のデータがまだリバウンドしていないことから、もうしばらくの間、関西～九州の  
大型地震の可能性について ご注意ください。